

ファイル履歴

大阪医科大学放射線医学教室 非常勤講師
(関西福祉科学大学 保健医療学部 教授)

上杉 康夫

ファイル履歴

ファイル履歴は Windows8で導入された機能です。ファイル履歴は、いくつかの主要な場所に保存されている個人用ファイルを継続的に保護するための自動システムです。個人用ファイルが変更されるたびに、指定した専用の外部ストレージデバイスにファイルのコピーが保存される場所のファイル履歴では、ライブラリ、デスクトップ、お気に入り、連絡先フォルダに保存されている個人用ファイルが継続的に保護されています。ファイル システムの変更は、定期的に（既定では1時間ごとに）スキャンされ、変更されたファイルは別の場所にコピーされ、また、特定の個人用ファイルに加えられた変更の全履歴が自動的に作成されます*1。

Windows8の時に導入された「ファイル履歴」は、ファイル履歴という名前ですが、特定のファイルまたはフォルダをバックアップし、それらを復元することができる、バックアップツールとしてかなり有用です*2。ファイル履歴を設定した後、自分の

PCに外付けドライブを接続してバックアップすることができます。さらに、接続しているだけで Windowsがスケジュール通りに自動的にバックアップしてくれるというとても便利な機能です。

経緯

以前のWindows7に「Windowsバックアップと復元機能」はありましたが、あまり普及しませんでした。しかしながら、どのような事故もデータ損失につながる可能性があるため、「Windowsバックアップと復元機能」が普及しなかったことは、多くの使用者にとって自らのデータとデジタル メモリが非常に脆弱な状態にあったこととなります。このため「Windowsバックアップと復元機能」を置き換えるような形でWindows8で「ファイル履歴」が導入されました*1。Windows7の「バックアップと復元」も含めWindows7からWindows10までのOSごとに各バックアップツールの概要を表1に転載します*3。

バックアップ 機能の種類	Windows7「バックアップと復元」関連機能		「ファイル履歴」機能
	「ファイルのバックアップ または復元」	「システムイメージの作成」	
特長	●対象ファイルの細かい指定が可能 ●自動バックアップ可能 ●システムイメージもまとめてバックアップ可能 ●システムイメージを含めると特にディスク容量が必要で長時間かかる	●システムイメージのみをバックアップ ●ファイル単位の指定はできずパソコンの状態をまるごとバックアップする ●毎回手動で実行 ●長時間必要 ●十分なディスク容量が必要	●ユーザーデータに限りバックアップ ●バックアップ対象の追加不可（バックアップ対象フォルダの削除のみ可） ●自動バックアップ可能 ●Dドライブへのバックアップ不可（外部ドライブのみ可） ●バックアップデータが限定的で、外部に保存するため短時間で完了しパソコン内のディスク容量は圧迫しない
OS	Windows7	○	○
	Windows8	○	○
	Windows8.1	—	○
	Windows10	○	○

表 1：Windows7以降のバックアップ機能の一覧まとめ*3

マイクロソフトは、Windows8で次のことを積極的に意図しました。

1. データをごく簡単に保護できるようにして、すべてのWindowsユーザーがファイル履歴を有効にし、自分の個人用ファイルが保護されていることに確信を持てるようにする。
2. バックアップの設定と使用に伴う複雑さを取り除く。
3. バックアップをユーザーによる操作が不要な自動サービスに変えて、ファイルを保護するための負荷の高い作業が、バックグラウンドで行われるようにする。
4. シンプルかつ魅力的な復元エクスペリエンスを提供し、これまでよりも容易に個人用ファイルの特定のバージョンを見つけ、プレビューして復元できるようにする。

また、ファイル履歴を設計するときには、過去の教訓を活かして、変化するPCユーザーのニーズに対処するための要件を追加しました。

1. PC ユーザーは、かつてないほどPCを持ち歩くようになっていきます。このような状況に対処するために、ファイル履歴は最適化され、電源状態が絶えず変化し、ネットワークやデバイスとの接続と切断が繰り返し行われているノートPCのサポートが強化されました。
2. PCユーザーは、かつてないほど多くのデータを作り出し、データに依存するようになっていたため現在システムドライブにあるデータだけではなく、過去に作成されたあらゆる作業とデータも保護されます。

特定の時点のバージョンのファイルやフォルダ全体が必要になったら、すぐに見つけて復元できます。ファイル履歴の復元機能は、ファイルを参照、検索、プレビュー、および復元する操作のために最適化され設計されました※1。

ファイル履歴の概要



図1:「ファイル履歴」のトップ画面(例: Windows10)※3

設定した間隔（10分ごと～1日1回間隔まで設定可）で、代表的なファイルを自動的にコピーして保存します。

パソコン内に保存されているファイル全てを対象としているのではなく、特に重要と考えられるバックアップ対象（ユーザーデータ）にターゲットを絞っており、設定した間隔で変更のあったファイルのみバックアップ保存するところが大きな特長です。

対象のユーザーデータの具体的な内容は、ドキュメント/ピクチャー /ミュージック/ビデオなどのライブラリ、デスクトップ、連絡先、お気に入り、OneDrive（※ただしOneDrive上で同期の指定をしたフォルダが対象）等のデータとなっています。また、バックアップ対象の追加（初期状態より増やすこと）はできず、除外のみが可能となっています。

上記のような仕様とすることで、バックアップに要する記憶領域の容量の節約とバックアップ時間の大幅短縮を実現していると考えられます。

また、バックアップデータの保存先が、基本的に外部のみ指定可能となっており、同じハードディスク内（CDドライブのデータをDドライブに保存するなど）を指定できないことも特徴です。

これはハードディスクの故障などを想定したことではないかと考えられます。

設定をして、外部メディア（USBメモリーなど）やネットワーク経由の保存先を接続しておけば、意図せずパソコンのハードディスクの容量を圧迫することもなく、特に意識せずとも代表的なフォルダのバックアップを外部に定期的にとってくれるため、より適している機能ではないかと感じます。

注意点としては、設定時に利用した外部メディア等を取り付けていないとバックアップが継続されないという点があげられます※3。（※一度外部メディア等を取り外しても、再度取り付ければバックアップは再開されます。）詳細なバックアップ手順については、さらにマイクロソフト社や各パソコンメーカーのホームページ等の確認をお願いいたします。

復元画面

復元画面は図2のような画面となっています。画面下部にあるボタンで、復元したいデータの保存日時を簡単に切り替えることができます。



図2:「ファイル履歴」の復元画面(例: Windows10)※3

注意点について

ファイル履歴は、負荷も低く、ファイルのバージョン管理も可能というメリットがある一方で、エラーが起こった場合に、原因を詳細に示すGUIがなく、ファイル履歴のコピー全体が止まってしまうという欠点があります※4。

また、全角カナと半角カナで同名のファイルがあると、エラーとなってしまうことが知られています。しかしながら、Windows8の頃から修正される気配がなく、現状「仕様」として扱うしかありません※4、5。具体的には、

ファイル.txt

ファイル.txt

のようなファイルが同一フォルダに存在する場合にエラーとします。フォルダが違う場合にはエラーになりません。半角カナは、利用頻度が減ってきており、利用しないユーザーも多いと判断されますが、ダウンロードした古い圧縮ファイルの中にあるファイルなどでは、半角カナが使われている可能性があります。Windowsの標準機能では、こうしたファイルを検索することは困難です。エラーになった場合にその原因となったフォルダを探すのが面倒になります。

この半角／全角の同名ファイルの問題以外に

知られていないエラー原因がまだあるかもしれません。例えば、ユーザーフォルダ以下にある「お気に入り」を含めるとファイル履歴が動作しないという報告もあります。お気に入りフォルダは、Internet Explorer特有の機能。Windows8からはアカウントによる同期の対象になっているため、他のPCでお気に入りに何かを加えた後に同期されてしまい、それまでエラーが起これなかったPCでエラーが発生する恐れもあります。Windows10の「Edge」は別のブックマークを利用しています。「お気に入り」をどうしてもバックアップしたいのであれば、設定時に「除外するフォルダ」に指定しておけばこの問題は回避できます。

ファイル履歴にはもう一つ注意すべき点があります。ファイル履歴の機能の1つである「個人用ファイルの復元」ウインドウ（実際にはFileHistory.exeという実行ファイルのウインドウ）が開いていると、ファイル履歴のコピーができません。これは、保存したファイルをリストアするためのプログラムですが、リストア作業が終わった後は、すぐに終了させた方がよいと思われます。

今回は、ファイル履歴の概要について述べました。

参考文献

- ※1: Windows8: ファイル履歴について
<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dn448546.aspx>
- ※2: Windows10の「ファイル履歴」を使って自動的にバックアップをとる方法
<https://i-bitzedge.com/tips/how-to-use-the-file-history-windows-10>
- ※3: OSのバックアップ機能に関して② | PCテクノロジー株式会社
<https://www.pct.co.jp/cccolumn20160412-001>
- ※4: トラブルでも慌てない、Windows 10のリカバリー機能を知る - Windowsの「ファイル履歴」にある落とし穴、エラー発生を回避する: ITpro
<http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/column/16/051000107/051100002/?rt=nocn>
- ※5: Windows8のファイル履歴がうまく働かない - マイクロソフト コミュニティ
https://answers.microsoft.com/ja-jp/windows/forum/windows_8-update/windows8%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4/0dfcd36e-97b2-49b0-95a4-e43ae03d3aec?auth=1